

水土里サークル活動 高山地区広域協定紹介 (北後田環境保全組織)



事例紹介の目次

- 1 自己紹介(水土里サークル活動との関わり)
- 2 高山地区広域協定の紹介(位置, 組織)
- 3 下部組織の「北後田環境保全組織」の紹介
- 4 北後田組織の活動内容(農地維持活動)
- 5 資源向上支払(農村環境保全活動)紹介
- 6 // 活動のうち, 水質保全活動の紹介
- 7 資源向上支払(施設の長寿命化)紹介
- 8 特質的な事例紹介(地域通貨券)
- 9 啓発活動の紹介
- 10 安全管理について
- 11 役員, リーダーとして
- 12 課題と解決

1 自己紹介

水土里サークル活動との関わり 県出先担当としては、

- ▶ 平成19年度に、全国的この活動(県では水土里サークル活動)が本格的に開始
- ▶ これを受け、県では農業土木職員を7ブロックに、専属人を配置
(鹿児島, 南薩, 北薩, 始良・伊佐, 大隅, 熊毛, 大島)
- ▶ 私は、大隅地域ブロックの担当で、大隅地域振興局に勤務(当時係長で51歳)
- ▶ 平成19年度～平21年度までの3年間 担当・・・業務内容は各人で考えて行動
- ▶ 私は、地域を知ってもらうために、市町担当と各組織でワークショップを開催

-1-

水土里サークル活動との関わり 地元での役員としては、

- ▶ 本格開始より2年遅れの平成21年度に、我が、「北後田環境保全組織」の採択
- ▶ 私は、県の担当しながら、郷里の組織の役員・・・草刈り機・カメラ担ぎ、広報係
- ▶ 平成21年度～平成28年度迄の8年間 県出先担当を離れたが、継続して地元で水土里サークル活動・・・
- ▶ 平成26年度に、肝付町の8組織が「高山地区広域協定」へ
(事務の簡素化, 予算の流用等の理由)
- ▶ 平成28年度に県を退職
- ▶ 退職を機会に、北後田環境保全組織の会長へ
- ▶ ・・・前会長より、行政的立場から言うばかりでなく、実践せよとのことで3期目から引き継いだ。
(前会長71歳・・・現在副会長でバックアップ)
- ▶ 現在、4期目(令和4年度～令和8年度)まで会長を継続中

-2-

2 高山地区広域協定の位置

組織がある肝付町の位置図



凡例
 県境
 市町村界
 耕地
 H18.3.20現在の市界

二階堂屋敷

流鏝馬



ロケット基地



肝付町の概要

(1) 地勢・地理・位置

- ・ 肝付町は、本土最南端の鹿児島県大隅半島の東部に位置
- ・ 総面積 308 Km² (奄美市と、ピッタリ同面積) で、林野地帯、畑地帯、水田地帯に大別される。(80%以上が林野地帯) 耕地面積は、26.2 Km² (8.4%)
- ・ 町の中央部には900m級の山が連らなっている。
- ・ 東側が太平洋に面しており海岸線が、50キロ

(2) 人口

- ・ 14,099人 (R5.5.31現在) 毎年減少傾向 (参考:平成25年3月時点 16,953人; 10年間で17%減少)
- 世帯数 7,601世帯で、1世帯1.85人

高山地区広域協定の位置図

水田の北側を一級河川・肝属川が流下



高山地区広域協定の組織図

その1

高山地区広域協定(506ha)

4組織(8組織)

宮富環境保全組織
(宮下・富山合併) 72ha

北後田環境保全組織 111ha

新富・前田環境保全組織
(下之門, 下住, 上之原合併) 177ha

波野環境保全組織
(波見, 野崎合併) 146ha

活動内容

- 農地維持支払
農業用施設(農道・水路等付近の草刈りや土砂上げ)
- 資源向上支払(共同活動)
施設の軽微な補修や景観形成, 水質保全活動
- 資源向上支払
(施設の長寿命化のための活動)(向上活動
老朽化が進む農業用施設(農道, 水路等)の長寿命化のための補修・更新等…業者に工事委託)

3 ここから、下部組織「北後田」の紹介 活動は、従来の組織単位で行うため 今回、北後田組織について紹介



-7-

北後田組織の概要

- ▶ ●肝付町の北西部に位置し、
- ▶ 鹿屋市(旧吾平町)に隣接した地域である。
- ▶ ●対象農用地の水田は、高山土地改良区が管理する、
- ▶ ほ場整備済みの広大な水田地帯の一部に位置している。
- ▶ ●水源は、一級河川肝属川の支流の高山川から導水トンネル等でため池に導水して、ため池直下部の境川を用水路として利用している。

-8-

組織の体制

高山地区広域協定

組織会長・書記会計

土地改良区(事務委託)

役員(会長, 副会長3名, 書記・会計, 委員 計16名)で,
点検・機能診断, 年度計画策定, 小規模な作業, 共同活動(施設の補修)

話し活動委員 2集落の団体の長, 振興会班長等(採択当時4集落)
(等は子供育成会, 青壮年部・婦人部も含む) 20名

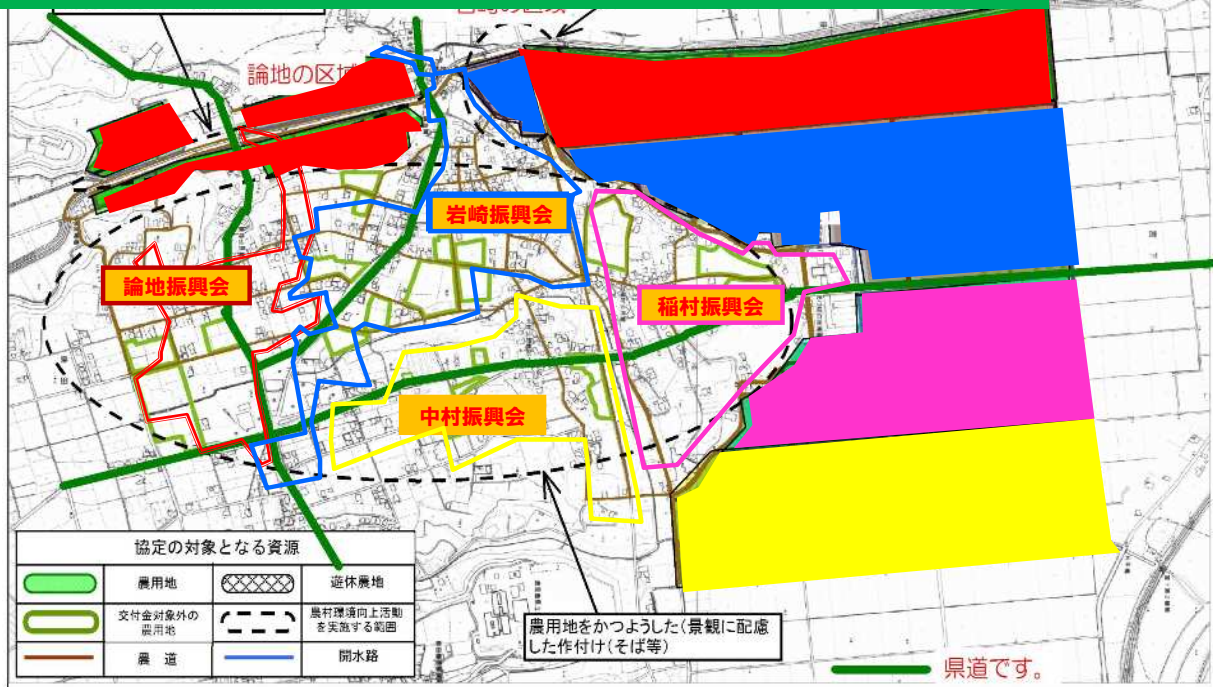
A集落

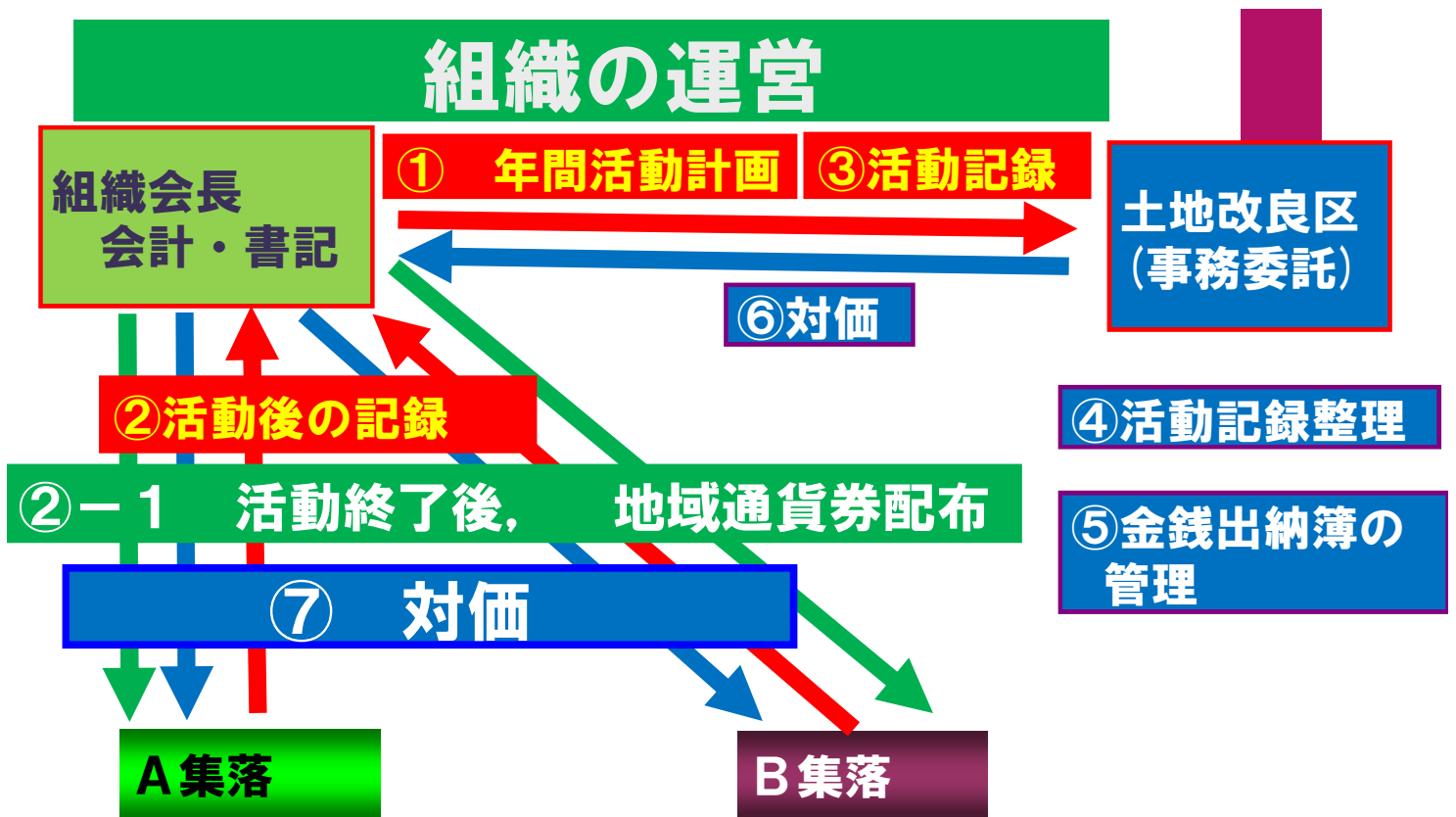
B集落

C集落

D集落

各集落ごとの活動範囲(採択当時)





-11-

4 北後田組織の活動内容(農地維持活動) 農地維持支払活動(排水路草刈り) その1



-12-

農地維持支払活動(排水路草刈り) その2

作業前



作業完了



-13-

農地維持支払活動(農道草刈り)



-14-

5 資源向上支払 (農村環境保全活動)紹介

景観形成活動・・・各集落単位でコスモス植栽



6 資源向上支払（共同） （水質保全活動）紹介

現状－1

水がめである溜池が集落の上部に位置し、その導水路である「境川」に生活排水が流入している。その状況下で、水質が悪化する恐れがあります。

たたら池



集落内を流下する
「導水路」

-17-

現状－2 取水箇所(固定堰, 転倒堰)



-18-

1段階（米ぬか+EM菌と混ぜる） EM団子づくり①（混ぜ合わせ，発酵）



専門家の指導者により

役員でEMほかしづくり



密閉して、寝かします



2
E
せ

混

**この活動をキッカケに、地域住民が
川への愛着を持ち、昔、川で遊んだ、
あの頃の環境に少しずつでも、戻って
いくよう子供達につなげていきたい。
これが、みんなの願いです。**

-21-

7 資源向上支払 (施設の長寿命化)紹介

**砂利道の舗装化、用水路の不当沈下の復旧と同時に、
オーバーフローによる法面の浸食防止に張コンクリート**



-22-

8 特質的な活動事例 (地域通貨券)紹介

地元のみで使用できる「ご縁券」表側

現物は名刺大



-23-

地元のみで使用できる「ご縁券」裏側

※名前の書いていないものは、無効です。

振興会名	おなまえ	電話番号
		65-

ご縁券協力店名

兼氏スタンド・魚鳥亭・惣菜まつもと・中窪商店
・森代根雄商店・無人販売所（花農家2戸・
野菜農家3戸）

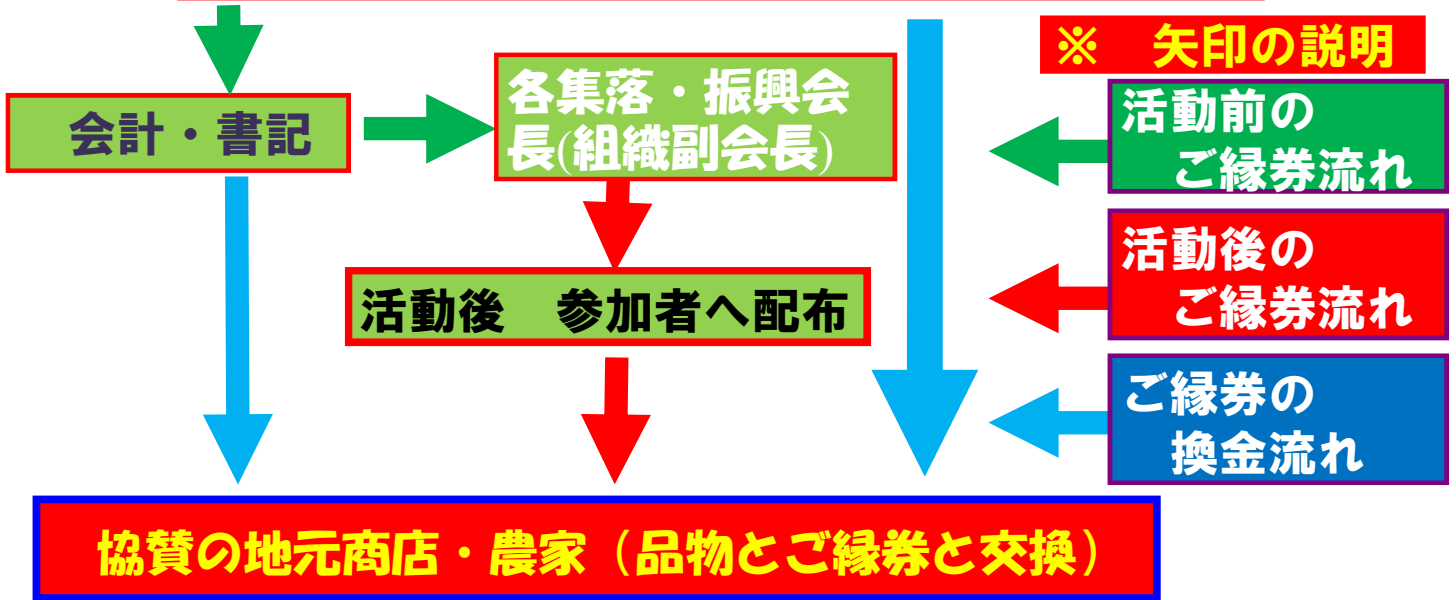
なお、店などで使わない場合は、お米になります
ので、各振興会長へ申し出てください。

申し出日 平成 年 月 日

-24-

地域通貨券（ご縁券）運営

土地改良区（ご縁券を印刷・取扱者 組織会長印）



-25-

生産者の顔が見える・・非農家との交流

水土里サークル活動 きた うしとだ ご縁券	
	★岩崎集落等で、 できた農産物です。 ★新鮮ですので、早めに お召し上がり下さい。
生産者	堂山 静夫
農産物の品名	新米(こしひかり)
生産地	肝付町後田大空幼稚園東側付近
★水土里サークル活動は、農業者及び農業をしない方との 結びつけを大事にしたいと思っています。奮って参加を！！	

農産物にラベル
を貼る。



-26-

ご縁券協力店など

①商店等

地元商店（雑貨店），理容，
惣菜店，石油スタンド

②そば粉，小麦粉，米との交換

③集落の夏祭り

※H29:1508枚， H30:1420枚， R元:1206枚，
R2:1349枚 ，R3:1535枚， R4:1509枚

-27-

ご縁券の活動パターン

軽微な作業・活動

- ①全体作業：農道・用水路沿いの草刈り，
旧駅前イベント広場周辺の草刈り

参加賞的感覚：ご縁券4枚1000円相当

草刈り機持参：ご縁券別途2枚

- ②水質保全活動：ご縁券4枚〔子供2枚〕

- ③コスモス観察会

ご縁券2枚(参加賞)：500円相当

クイズの当選者（2枚～）

-28-

ご縁券導入による効果、地域の声

- ①活動直後に配布でき、喜んでもらえる。
- ②地域独自の券であり、現金と感覚が違う。
- ③地元の安心・安全な農産物と交換できる。
- ④ご縁券を集め、米と交換して、県外の子供へ宅急便で送り、喜んで味わっている。
- ⑤生産者も自分で作った物が提供できる。
- ⑥交換する際に、人との交流（語り）ができる。

-29-

9 啓発活動の紹介



活動計画・実践
の報告・掲示板

活動内容を
日当の封書に同封



-30-

構成員・町内外方々に啓発

田んぼ周辺に
看板設置



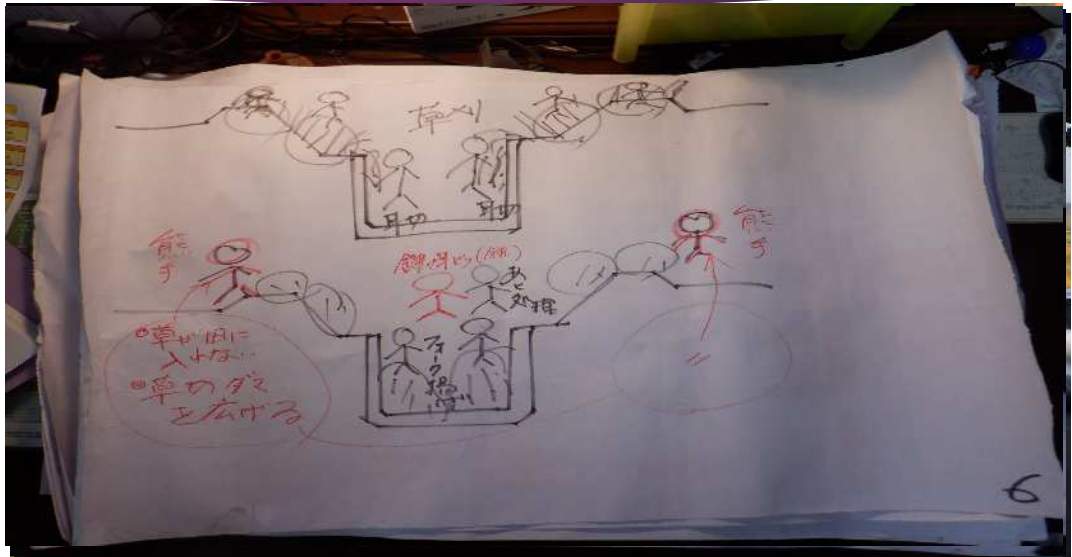
構成員・町内外方々に啓発

活動時の写真をカレンダーに!!!



10 安全管理の紹介（KY活動）

その日の活動内容にあったKY活動
手作りで危険個所作業手順を確認



-33-

11 役員として 参考

- ▶ 役員は、楽しく活動しないと次期後継者が出てこない
- ▶ (例・後継者の目線；楽しい農業，ぶつぶつ大変と，つぶやく農業)

- ▶ 役員同士の，ホウレンソウ(報告・連絡・相談)は大事
- ▶ 玉には，活動後のノミニケーションも大事
(本音や新たなアイデアが出る)

-34-

11 リーダーとして 参考

- ▶ リーダーには、水戸黄門同様、助さん・かくさんが必要
- ▶ リーダーは、人が嫌がる仕事を率先(模範的な態度を見せる)
- ▶ リーダーは、全体に呼びかける作業は、最大・半日作業とする
(せっかくの休日(日曜日)を1日潰さない)
- ▶ リーダーは、感謝の気持ちや褒めることが大事(良好な人間関係)
- ▶ リーダーは、失敗を率直に認める(人が親しみやすさを感じる)
- ▶ リーダーは、話すよりも、相手の話に耳を傾けるようにしましょう
 - 聞き上手になることで、いろいろなアイデアも湧き出る

-35-

12 課題と解決 その1

①組織の減少

採択当時 4集落加入 → 2集落となった

●原因 高齢化と集落内の活動に対する不満

○対処 減となった2集落の活動範囲を、
残った2集落で回数を増やし実施

-36-

12 課題と解決 その2

①参加者減少化への対策

呼びかけ

- 事務局からの活動内容の連絡文書(掲示板, 回覧)
- 集落内の放送で数回流す(朝夕)・・・振興会長
- 協力者の携帯へ連絡(ライン, メール)
- 今回は来れないという返事があっても,
「了解です。またの機会にお願いします」で返信
何でとか聞かない→自然体

-37-

12 課題と解決 最後に

役員も高齢化ですが、今できることを楽しみたい

- 現在、採択当時の役員で80歳に近い役員の方々が大部分ですが、足腰が丈夫なうちとはと頑張る
- この活動(採択条件内の作業)は、即実現できることが魅力であり、ありがたい
- 集落間を超えた会話もでき、世間が広がった(災害時でも応援可能)
- この活動はボランティア的な要素であり、安全第一で活動する

最後に 皆さん この活動を機会に

大いに楽しみましょう(人生は一度しかない)

-38-

ご清聴

ありがとう

ございました